

## 27. 広報委員会

### 広報委員長 阿戸 学

#### 概要

広報委員会は、国立感染症研究所の研究活動等を広く社会に公表し、理解を得ることにより開かれた研究所とすることを目的として、広報活動に関する業務を遂行している。また、広報委員会の業務を円滑に遂行するために、各部・センター・省令室から委員一名を選出し、戸山庁舎および村山庁舎でそれぞれ、広報運営委員会を組織している。広報委員会の業務を支援するために、委員の他に、再任用職員2名が委員会業務をおこなっている。委員会の庶務は調整課で処理される。

広報委員会の活動内容は以下の通りである。

- (1) 研究所概要(パンフレット、広報ビデオ、インターネットホームページを含む)等の作成およびその更新・改定の実務。
- (2) 研究所一般公開の企画・運営に関わる実務。
- (3) 市民向けセミナー「知の市場」の企画・運営に関わる実務。
- (4) 研究所見学・研修ならびに出前授業、および取材対応に関わる業務。
- (5) その他広報に関すること。

広報委員会で実施された業務の概要は以下のとおりである。

1. 感染研村山庁舎一般公開
2. 感染研戸山庁舎一般公開
3. 市民向けセミナー「知の市場」
4. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業
5. しののめ自治会夏祭りでの感染研ブース設置
6. サイエンスアゴラ出展(大阪市立大学との共催)

#### 業績

##### 1. 感染研村山庁舎一般公開

村山庁舎近隣住民、とくに小・中学性およびその保護者を対象とするため、地域学童の自由研究に参考になるものが望ましいと考え、7月29日(土)13:00-17:00の開催とした。村山庁舎広報運営委員会を新設し、ウイルス第三部白戸憲也実行委員長の元、佐賀県の協力とともに、一般公開の企画運営を行った。98名の感染研職員等がスタッフとして参加し、パネル展示(話題の感染症、世界史と感染症、感染研業務(国家検定)、病原体の種類、エボラウイルス検査)、サイエンスカフェ、手洗い実習、病原体写真展、ゲーム、模型工作、バイオセーフティラボ体験、病原体&発育鶏卵観察、研究者体験(Green Scientist Club 企画)、感染症クイズ(学友会企画)を実施した。来場者は363名に達し、来場者アンケートの結果からは、概ね好評であることが判明した。

##### 2. 戸山庁舎一般公開

戸山庁舎一般公開は、平成22年度に企画の見直し等を行って以来、9月末または10月初旬に開催されており、継続性と来場者への浸透を図るため、9月30日(

土)10:00-17:00の開催とした。エイズ研究センター原田恵嘉実行委員長の元、戸山庁舎ならびにハンセン病研究センターで戸山庁舎広報運営委員会を再組織し、一般公開の企画運営を行った。155名の感染研職員等が参加し、パネル展示(動物由来感染症、ゲノミクスと感染症、病原体の種類、感染研業務(国家検定・国際協力))、講演、感染症クイズ(一部学友会企画)、サイエンスカフェ、手洗い実習、病原体写真展、ゲーム、模型工作、病原体・昆虫標本展示、バイオセーフティラボ体験、実験体験コーナー(Green Scientist Club 企画)、ラボ見学を実施した。来場者は431名に達し、来場者アンケートの結果からは、概ね好評であることが判明した。特筆すべき事項として、厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎」プロジェクトと共催、佐賀県の協力のもと、知って肝炎プロジェクトスペシャルサポーターである元スピードスケート選手の清水宏保氏が来場し、肝炎検査の啓発および肝炎クイズを行った

##### 3. 市民セミナー「知の市場」

「知の市場」と共催で、週1回2時間、15コマの感染症総合管理1c「感染症との戦いー現在問題となっている感染症」(4月-7月)、感染症総合管理1d「感染症対策〜ワクチンを中心に」(9月-12月)を開催した。感染研職員のべ30名が講師としてそれぞれ1コマを担当した。受講者数は、感染症総合管理1cが31人、感染症総合管理1dが30人であった。講義の出席、小レポートの提出、及び所長による最終レポートの評価に基づき成績をつけ、それぞれ1cで23人、1dで16人に修了証を授与した。

##### 4. 武蔵村山市立雷塚小学校出前授業

雷塚小学校からの「病気の予防に関する授業」依頼に基づき、雷塚小学校理科室において、平成29年12月18日に、6年生を対象とした授業2コマを実施した。講師はインフルエンザセンター高山郁代主任研究官が、「インフルエンザ」について講義、迅速診断キットによる実習を行った。講師の他に、15名の研究職員・2名の事務職員が観察・工作のサポートとして参加した。

終了後、授業に参加した児童全員および感想文を受取り、好評であったことが伺えた。

##### 5. しののめ自治会夏祭りブース出展

7月22日(土)武蔵村山市大南公園において、所長および副所長が来賓として参加することに伴い、感染研としてブースを出展した。広報委員会から4名、業務管理課から3名が参加し、7月29日に行われる予定の一般公開の宣伝、パズル等による感染研の紹介と感染症に関する啓発活動を行った。

##### 6. サイエンスアゴラ出展

科学技術振興機構(JST)が主催する全国規模の科学

## 広報委員会

コミュニケーションであるサイエンスアゴラ(開催地:東京お台場地域、11月25,26日)に、感染症への高まる注目に対して、「微生物リテラシー」の涵養を図るという目的で、大阪市立大学が中心となって出展した「バイキングワールド 2017」に共催として参加した。感染症の予防法・治療法、身近な感染症、耐性菌などについての解説を掲載したパネル展示、タブレットを使った感染症クイズやゲーム、病原体の写真と映像の展示を行った。感染研の参画として、病原体の電子顕微鏡写真の提供と、職員2名が開催当日スタッフとして参加した。